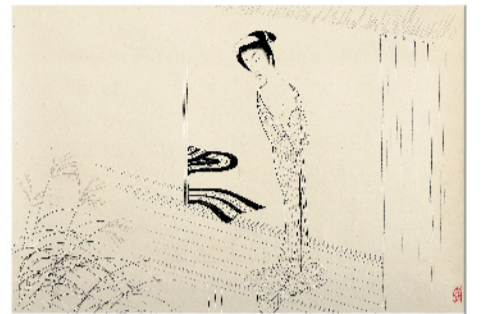




## 繊細な描線と モダンデザインの の妙

小村雪岱 江戸の残り香  
— 清水三年坂美術館コレクションより  
2012.10.6[土]— 11.25[日]



夕涼み(おせん) 肉筆画

**小**村さんは生まれつき意匠家だった。友人の日本画家・鍋木清方は、小村雪岱をこう評しました。本の装幀や挿絵の世界で活躍した雪岱の、画家としての資質を実に的確に表現しています。

小村雪岱(明治20・1887年～昭和15・1940年)が最初にその名を高めたのは、泉鏡花の小説『日本橋』の装幀でした。雪岱は、歳が立ち並び荷船が行き交う日本橋界隈の風景に無数の蝶を描き入れました。日本橋芸者の恋と情念に満ちた物語、雪岱は、その耽美な世界観を、色とりどりの蝶の乱舞にたとえました。以降、鏡花の厚い信頼を得て、鏡花作品の装幀のほとんどを雪岱が手掛けました。

雪岱は装幀画の仕事为契机に多くの文学者と交わり、挿絵の依頼も受けるようになりました。人気を不動のものとした作品は、朝日新聞に連載した邦枝完二の小説『おせん』の挿絵でした。おせんは江戸に実在した茶屋の美人娘です。紙に墨線のみで描いた簡潔な画面のなか、もの思う姿に引き寄

せられます。雪岱は、かなわぬ恋を耐えたおせんの、可憐さのうちに芯の強さを秘めた姿をもとらえました。新聞のモノクロ印刷に清冽な気品を放つ雪岱の挿絵は評判となりました。

雪岱のデザインは、季節を彩る小物にも広がりを見せました。「蛸」は団扇に表わされた木版画作品です。夜の闇からほのかな光を放つ蛸。そこにそっと手を伸ばした女性の細い二の腕や白い顔が美しく際立っています。

夜の静寂と夏の情感が、団扇らしい涼やかさを演出しています。

意匠家・雪岱の研ぎ澄まされた画面構成と色彩感覚は、今もなお新鮮です。しかし雪岱デザインの魅力はそれだけではありません。

人の感情の機微や季節の情趣がさりげなく織り込まれています。それは、日本人が誇りとする日本らしさでもあります。雪岱の作品が今、注目されているのは、時代が変わってもなお変わることのない日本の心が息づいているから、ともいえるのではないのでしょうか。

(学芸グループ主任 河内えり子)  
掲載作品はすべて清水三年坂美術館蔵



▲赤とんぼ 昭和12年(1937)頃 肉筆画  
▲雪の朝 昭和16年(1941)頃 木版画  
▼泉鏡花『日本橋』大正3年(1914) 装幀本



蛸 木版画

### ミュージアムショップ

※一部は小村雪岱展会期中(10/6～11/25)のみの販売です。



金欄貝つきポーチ 480円(税込)  
金欄ティッシュ入れ 350円(税込)

◆その他季節柄のてぬい続々入荷!◆

便利堂▶  
小村雪岱デザインブックカバー 2,650円(税込)  
明治の文豪泉鏡花の短編集「龍蜂集」の装丁デザインです

#### プレゼントコーナー

※抽選で4名様に🎁マークの品を差し上げます。(色は当方で選びます)  
「プレゼントコーナー応募」、ご住所、お名前、電話番号、隆泉の感想と隆泉に掲載したい一言コメントを明記の上、佐野美術館「隆泉」係まで郵便かFaxでお送りください。一言コメントのテーマは「ミュージアムショップで衝動買ったもの」です。しめきり: 2012年11月15日(消印有効)  
・当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。  
・いただいた個人情報はプレゼントの発送以外に使用いたしません。

小村雪岱が  
大好きなあなたに!

クリアホルダー  
210円(税込)



埼玉県立近代美術館小村雪岱グッズ

一筆箋 367円(税込)



清水三年坂美術館  
小村雪岱はがき  
100円(税込)

はがき 100円(税込)



ハンカチ  
840円(税込)

### 佐野美術館休館のお知らせ

平成24年  
11月26日(月)  
から  
平成25年  
4月上旬まで、  
リニューアル工事  
のため  
休館します。

生まれ変わる  
佐野美術館を、  
どうぞ  
お楽しみに!